ISSN 2189-2741

関谷学校研究

第19号　2015. 5

巻頭言　『関谷学校』と『関谷』　石川　俊　1
「関谷」の概念とその変遷を通じて「関谷の縁」　竹内　啓　3
「関谷」（井田）に残されたもの　増田　良一　17
大森貝塚ランドマークとして　太田原静子　27
江戸城跡散策で学ぶことについて　森　純一　40
遺跡の保護活動　鈴木　秀夫　42
関谷　佐藤　光夫　44
関谷学校からの編纂と未来について　佐藤　光夫　50
関谷学校からの編纂と未来について　佐藤　光夫　54
関谷学校からの編纂と未来について　佐藤　光夫　57
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　61
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　71
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　73
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　77
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　86
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　90
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　96
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　99
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　105
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　108
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　110
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　121
『関谷』（長崎県西彼杵郡）　渡部　一二　123

公益財団法人　特別史跡旧関谷学校顕彰保存会

アジア航海図

清明上河図（部分）

林原美術館 All Stars チラシ

洛中洛外図屏風（五隻）

特別寄稿

林原美術館開館五十周年記念特別展「林原美術館 All Stars すべて魅せます国宝・重文全公開」

浅利尚民

本誌は、二〇一四年に、本誌の前身である『関谷』の存在を知られていた人物を考えられる、本誌は昔日をめぐる当時の生活や風俗が様々にとらえられており、特に貴重な史料の価値を高めている。作者のすぐれた技倫を示している。『鄭成功』（一八六六）（九四〇）三月版で、明治には重要美術品に指定されている。

『清明上河図』については、『清明上河図』（部分）は、古文書や歴史資料の宝庫である。

『石山寺文書』（戦国時代、林原コレクション）は、室町幕府の奉公衆（同様の物語）で、十代将軍足利義稙に仕えた美濃国方面出身の（現・岐阜市石谷）に本拠を有する一族である石谷家に伝わる文書群である。天文四年（一五三五）作、「石谷家文書」の中の、「天文四年（一五三五）作、「石谷家文書」の中の、「天文四年（一五三五）作、「石谷家文書」の中の、「